



発行所
津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会
〒573-0128
枚方市津田山手2-1-1
吉泉産業(株)内
TEL (072)858-5901
FAX (072)858-5904
(題字:墨アーティスト 樋堂 幸三書)



津田サイエンスヒルズ全景 航空写真 2013.12.3 撮影

津田サイエンスヒルズまちづくり協議会

10年のあゆみ

- 1988年(昭和63年)11月 造成工事開始
- 1996年(平成8年)3月 造成完了
- 2003年(平成15年) 竣工
- 2004年(平成16年12月28日) 津田サイエンスヒルズまちづくり協議会設立
- 2005年(平成17年12月22日) 京阪バス津田サイエンス線開通
- 2006年(平成18年8月26日) 津田ヒルズまちびらきフェスタ開催
- 2008年(平成20年7月4日) 枚方7企業団地連絡協議会正式加入
- 2010年(平成22年3月20日) 第2京阪道路全線開通
- 2013年(平成25年4月1日) 大阪府立北大阪高等職業技術専門学校開校
- 2013年(平成25年5月31日) 北大阪産業人材育成協議会委員会発足
- 2014年(平成26年3月31日) 現在立地状況:21企業・北大阪高等職業技術専門学校・大阪大学工学研究所
- 2014年(平成26年11月) まちづくり協議会設立10周年記念式典予定



津田ヒルズまちびらきフェスタ開催



会長 佐々木 啓益氏 (吉泉産業株式会社代表取締役)

津田サイエンスヒルズまちづくり協議会は平成16年12月28日設立、今年で10周年を迎えることになりました。平成22年3月には第二京阪道路が開通し、

世界への玄関口である関西国際空港や関西文化学術研究都市への交通アクセスの利便性が飛躍的に向上しました。平成24年9月には、ベトナム・ハノイ近郊の

津田サイエンスヒルズまちづくり協議会 設立十周年を迎える！ 十二月に記念行事を開催予定

ピンフック省視察団やタイ王国の中小企業団の訪問、台南市政府の日台間企業交流があり、国際親善・経済交流も展開しています。昨年4月には大阪府立北大阪高等職業技術専門学校が開校し、現在の立地状況は21企業と全体の従業員数は約900名となっております。現在は、津田ヒルズ発

津田サイエンスヒルズ掲示板

津田サイエンスヒルズまちづくり協議会は平成16年12月28日に設立され、今年で10周年を迎えます。

毎年好評をいただいている親睦交流フォーリング大会も実行委員会委員の皆様が支えられ、大会の運営が成り立っ

10周年を迎えるにあたり共々に発展し、枚方市・大阪府の代表となれる企業団地として努めていく所存です。

その時のご縁で翌々年の「まちびらきフェスタ」や恒例行事になったボーリング大会の実行委員にご推薦いただき、近隣企業の方々と交流することができ自身にとつて大変貴重な経験をさせて頂きました。当社は今年で創業57年です。目まぐるしい変化に取られ残されることなく「細く

吉泉産業株式会社

取締役工場長 麻生 敏治

吉泉産業はこの津田ヒルズに移転して今年で、10年を迎えます。

移転の前年、佐々木社長に連れられ造成中で雑草や枯れ木が覆いしげるこの場所です。「吉泉産業発展の未来が確信できる。みんなが会社を盛り上げて行きたい」との社長の想いをお聞きし、私は期待が大きく膨らみ熱いものが込み上げて来た事を今でも昨日のように覚えています。

まちづくり協議会設立 10周年の歩みを語る

幸か不幸か駐車場の白線が消えかけているのに事前に気づき、8月の炎天下の中、当時の部下5人で50台分以上の白線を引き直した辛い記憶と誘導係のおかげでフェスタ自体を見ることができなかつたという苦い思い出が蘇ってきます。(笑)

株式会社アスク

専務取締役 長倉 健太郎

設立10周年おめでとうございます。

フカットの練習をする人がいたりし、夜になると真つ暗で人を発見すると無人島に人が居た時のように驚いたものです。

津田サイエンスヒルズの立地企業の今後益々のご発展を祈念申し上げます。

追伸 津田サイエンスヒルズの人口と第二京阪道路側道交差点での交通事故にはくれぐれもお気を付けて下さいます。

株式会社伸和製作所

管理部部长 日高 秀尚

私と津田ヒルズとの出会いは、平成18年8月26日「まちびらきフェスタ」開催時、イオンテクノセンターの敷地内に来賓用の駐車場確保と車の誘導係の依頼を受けことから

ホームページ
津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会
ホームページアドレス
<http://tsuda-science.jp>
メールアドレス
matiky@tsuda-science.jp



津田サイエンスヒルズ

技専校の訓練生と企業の初の合同面接会を開催！

平成25年
11月20日～21日
技術専門校にて

平成25年4月に開校した北大阪高等職業技術専門校で、このほど合同面接会が行われた。技術専門校に学ぶ訓練生と地元企業をマッチングし、就職活動を支援する取り組みとして、府内の技術専門校と

して初めて行われた。平成25年11月20日、21日に行われたこの面接会には、地元を中心に企業22社が参加した。初日には株式会社枚方技研常務取締役 前田眞孝氏から「就職はゴールではなく、スタート」

だ」と題した講演があり、同校訓練生はもちろん指導員方も熱心に聞き入っていた。訓練生は、希望する企業を廻って説明を受け、疑問点を確認するなど予定時間ぎりぎりまで真剣に



産業ロボット
システム科



訓練生と企業の合同面接会



(株)枚方技研 前田常務の講演

千葉県議会15名技専校を視察

昨年11月8日、千葉県議会商工労働企業常任委員会の一行は、北大阪技専校の視察に訪れた。当日、県議会山本義一常任委員長ほか8名の常任委員と随員職員として県から企業庁長の吉田雅一氏ら5名と計15名が参加。視察の目的は、北大阪技専校開校までの経緯と課題、職業

能力開発の中核的施設役割についての調査などであった。大阪府からは、商工労働部雇用推進室の乾室長から学校設立の背景と経緯の説明があり、続いて北大阪技専校の概要と課題について、大江校長の説明。開校までのながれについて、人材育成課の中岡課長、さらに職業能力開発



住宅エネルギー設備科

の中核的施設としての役割について産業人材支援室の小川室長の説明。同席していた津田サイエンスまちづくり協議会からは、学校と地元立地企業の連携について和泉事務局長の説明を行ったのち、出席の各委員から熱心な質疑を受けた。質疑終了後、校内視察があり訓練生の授業風景、実技状況などをメモを取ったり、カメラに納めていた。最後に学校側と視察各委員が名刺交換をするなど、和やかで内容のある視察であった。

金沢市工業団地連絡協議会 一行24名、研修視察に訪れる

金沢市工業団地連絡協議会が昨年10月25日、研修視察先として津田ヒルズまちづくり協議会と吉泉産業株式会社を訪れた。この連絡協議会は9つの地域の工業団地と

工場見学が行われた。特に多種にわたる野菜をカットする機械について熱心に見学、多くの質問が飛び交った。最後の質疑応答時では、ものづくりの同業企業として、新商品開発に関する鋭い指摘があった。



吉泉産業(株) 1階 技術資料室にて

協同組合で組織され、当日24名が参加した。まち協佐々木会長より概要の説明と今後の課題について説明。吉泉産業では最近放映された番組のビデオを紹介し、麻草工場長による

長崎県大村市議会 地場企業振興委員会10名が行政調査

昨年10月29日、長崎県大村市議会の地場企業振興調査特別委員会から、北大阪技専校と株式会社坂本設計技術開発研究所への視察があった。この行政調査には特別委員会の里脇委員長を始め10名が訪れた。大村市は長崎県の中央部に位置し、長崎空港から6キロ、高速道路大村インターか

ら2キロという絶好の交通アクセスを活かし、県下有数のハイテク企業が立地するエリアで、平成34年開業予定の九州新幹線西九州ルートの新大村駅を中心としたまちづくりに取り組みしている。新しい企業団地構想の計画があり、津田サイエンスヒルズの視察に訪れたと語っていた。



(株)坂本設計
技術開発研究所にて

まち協10周年の歩みを語る

坂本精器株式会社

技術部長 武田 全弘
当社が大阪市旭区より津田サイエンスヒルズに移転し、本年5月で7年になるとうとしています。

大阪旭区の工場は狭く、来客された方が迷路のようだと言われ、工場周辺の道路での材料の積み下ろしなどで近隣の方々に迷惑を掛けていましたが、その職場環境が劇的に改善されました。

枚方東部企業団地協議会

枚方企業団地協同組合が視察

昨年11月29日枚方東部企業団地協議会会長藤尾憲一氏、枚方企業団地協同組合の各企業事務局長など12名が津田ヒルズを訪れ、北大阪高等職業技術専門校大江校長による歓迎の挨拶の後、テクノ講座、人材開発センターの説明を受け

津田ヒルズでは春から夏にかけて鶯のさえずり、夏には蝉の鳴き声、秋には紅葉、冬の雪給水設備の逆止弁が凍結で破損し水が噴き出した時にはびっくりしたなどの四季の移り変わりが身近に感じられ、工場も広く、材料・製品の積み下ろしも楽になり満足しています。これからは金属パイプの新たな用途を見出すための加工技術を極めていく事を目標に頑張りたいと思います。校内を見学した。植田工業では、植田工場長による工場見学と植田社長の会社概要の説明を受けた。最後に視察した吉泉産業でも、工場の見学と佐々木社長の製品説明を受け、活発な質疑と意見交換を行った。